

平成27年2月

山岳遭難事故発生状況
(平成26年)



静岡県警察本部
地域部地域課

1 概況

平成 26 年中の山岳遭難事故は、発生件数 116 件、事故者 131 人（死亡 8 人、行方不明 1 人、重傷 19 人、軽傷 22 人、無事救出 81 人）であった。

区分 年別	(件) 発生件数	事 故 者 総 数 (人)					
		総 数	死 亡	行方不明	重 傷	軽 傷	無事救出
平成26年	116件	131人	8人	1人	19人	22人	81人
平成25年	139	156	10	3	19	35	89
増 減	-23	-25	-2	-2		-13	-8

2 山岳遭難事故の特徴

平成 26 年中に発生した山岳遭難事故の主な特徴は、次のとおりである。

- (1) 平成 26 年は、富士登山の最盛期となる夏期の天候不順により、登山者が減少するなどし、統計の残る昭和 48 年以降最多となった平成 25 年に比べ、発生件数、事故者総数とも大きく減少した。
- (2) 山系別では、富士山が全体の 56.9% に当たる 66 件（前年比-32 件）を占め、南アルプスは 17 件（前年比+1 件）であった。
- (3) 登山者が集中した夏期の 2 ヶ月間で全体の 56.0% にあたる 65 件（前年比-29）を占め、特に富士山・南アルプスでは、この傾向が顕著であった。
また、死者の 75% は閉山期における富士山で発生したものであった。
- (4) 目的別では、夏期を中心とした富士山への観光登山が 54 件（46.6%）と最多であった。

その多くが、天候に関する誤った判断や不十分な装備の上で山小屋を利用せずに徹夜で登山するなど、無理な計画が原因と思われる高山病や疲労により行動不能となる遭難であった。

- (5) 態様別では、昨年 3 位の道迷いが 34 件と最も多く、富士山での遭難の減少により、昨年態様別 1 位の発病は 27 件、同 2 位の転倒は 26 件といずれも減少した。
- (6) 曜日別では、土・日曜が 54 件（46.6%）と昨年よりも 8.5 ポイント上昇するなど週末に集中する傾向が高まった。
- (7) パーティー別では、単独登山者の遭難発生件数が 44 件（38.0%）を占めているが、そのうち死者・行方不明者は 7 人で、全体の死者・行方不明者に占める割合が 77.8% と高比率で、複数での登山に比べ重大な結果につながる危険性が高いことが窺われる。

- (8) 警察署別では、富士山を管轄する富士宮署が 48 件と最多で、同じく富士山を管轄する御殿場署と南アルプスを管轄する静岡中央署が共に 23 件で続き、この 3 署で 94 件 (81.0%) を占めている。
- (9) 年齢層別では、60 歳以上の遭難が 35.1%と平成 21 年以降の警察庁統計と比べ 10%以上低い。これは、若年遭難者の多い富士山を含むためであるが、一方で、南アルプスでは 60 歳以上の遭難者が 41%を占めるなど高水準である。
- (10) 居住地別では、外国人 10 人を含む県外居住者が 90 人 (68.7%)、県内居住者が 41 人 (31.3%) であった。
- 観光目的の登山者が多い富士山においては、県外者が 47 人 (67.1%)、外国人が 10 人 (14.3%) と多くを占め、効果的な広報啓発活動が課題である。
- (11) 男女別では、男性が 70.2% (92 人) を占めたが、一方で、南アルプスでは、女性の遭難が平成 25 年の 3 人から 6 人に倍増しており、昨今の登山ブームにより経験が少なく体力的にも劣る女性登山者の入山が増加していることも考えられる。
- (12) 平成 26 年中に警察本部へ提出された登山計画書は 1,089 通(前年比+528)でほぼ倍増したが、これは 4 月下旬にインターネットを利用した電子申請による受理システムを導入したためである。また、116 件の遭難事故のうち、登山計画書が提出されていたのは 14 件 (12.0%) と依然低調ではあったが、平成 25 年の 8 件 (5.8%) と比べると提出率は、増加傾向にある。

一方で、登山直前の申請や入力フォームへの入力を省略した申請など一部で問題点も窺われることから、当県では、平成 26 年 12 月 19 日、日本山岳ガイド協会と協定を結び、遭難事故発生時には迅速な救助活動に資するため同会が運営するオンライン登山届「コンパス」(登下山の状況把握が可能)の活用を図るとともに届出を広く推奨している。

3 事故防止対策

富士山の世界文化遺産登録から今年は 3 年目を迎え、加えて御嶽山の噴火災害に見られるように火山としての富士山の安全対策も叫ばれていることから、関係機関がより強力で連携し、遭難防止対策を推進していかなければならない。

1 年別発生状況

年別	区分 (件) 発生件数	事故者総数(人)					
		総数	死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出
平成17年	29件	36人	7人	2人	3人	13人	11人
平成18年	37	49	1	2	3	19	24
平成19年	40	45	4	1	4	15	21
平成20年	65	76	12		10	18	36
平成21年	82	147	12	5	12	23	95
平成22年	78	98	9		7	22	60
平成23年	79	89	6	5	10	20	48
平成24年	97	126	15	3	8	26	74
平成25年	139	156	10	3	19	35	89
平成26年	116	131	8	1	19	22	81

2 山系別発生状況

山系別	区分 (件) 発生件数	事故者総数(人)						
		総数	死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出	
計	116件	131人	8人	1人	19人	22人	81人	
富士山	富士宮口	42	42	1		6	12	23
	須走口	6	6	1		1	1	3
	御殿場口	12	13	3			1	9
	その他	6	9	1			2	6
	計	66	70	6		7	16	41
南アルプス	聖岳	2	2	1		1		
	赤石岳	4	4			2	1	1
	荒川岳	4	4			4		
	その他	7	7			3	1	3
計	17	17	1		10	2	4	
天城山系	3	4				1	3	
愛鷹山系	6	10					10	
安倍山系	4	5	1				4	
奥大井山系								
北遠山系	6	6			1		5	
天子山系	4	5				1	4	
その他	10	14		1	1	2	10	

3 月別発生状況

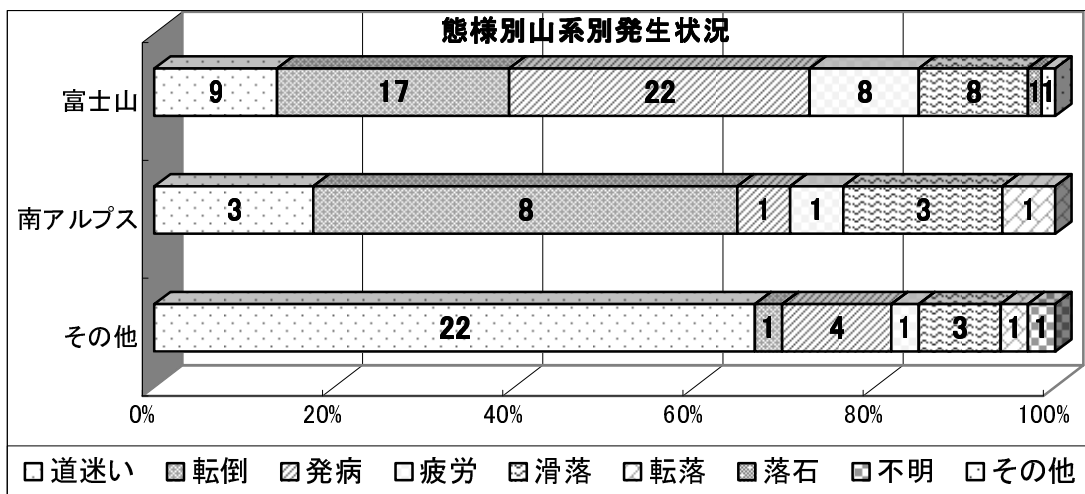
月別	区分 発生 件数	死亡	行方 不明	負傷		無事 救出	山系別発生件数		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	116件	8人	1人	19人	22人	81人	66件	17件	33件
1月	3	1			1	1	1		2
2月	3			1	1	1			3
3月	2					2			2
4月	3		1			2			3
5月	12	2		1	2	9	5		7
6月	6	1		1	1	4	2	1	3
7月	26			7	6	19	18	7	1
8月	39	1		7	7	24	33	6	
9月	11	1		2	3	6	4	3	4
10月	4					6			4
11月	6	1			1	7	2		4
12月	1	1					1		

4 目的別発生状況

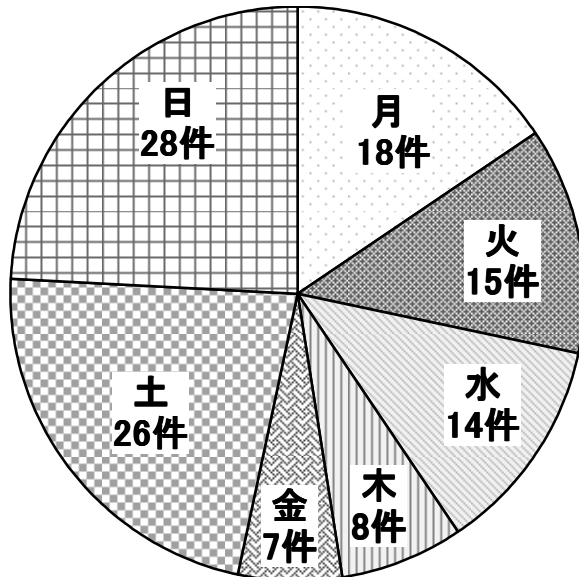
目的別	区分 発生 件数	死亡	行方 不明	負傷		無事 救出	山系別発生件数		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	116件	8人	1人	19人	22人	81人	66件	17件	33件
登山	37	5		10	5	23	8	16	13
スキー登山	2	1			1		2		
観光登山	54			7	13	38	54		
ハイキング	11	1		1	1	12			11
野草採り	1		1						1
写真撮影	4	1				3	1		3
業務	3			1		3	1	1	1
その他	4				2	2			4

5 態様別発生状況

態様別	区分	発生 件数	死亡	行方 不明	負 傷		無事 救出	山系別発生件数		
					重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計		116件	8人	1人	19人	22人	81人	66件	17件	33件
道 迷 い	地理不案内	18	1			1	21	4	3	11
	装備不備	12					18	2		10
	濃霧	2					4	2		
	その他	2					2	1		1
	小計	34	1			1	45	9	3	22
転 倒	つまずき	7			4	3		4	3	
	スリップ	10			6	4		6	3	1
	バランス崩し	8			2	5	1	7	1	
	その他	1			1				1	
	小計	26			13	12	1	17	8	1
発 病	高山病	11					11	10	1	
	過呼吸	2					2	1		1
	低体温症	7	1				6	6		1
	その他	7	1				6	5		2
	小計	27	2				25	22	1	4
疲労		10			1	1	10	8	1	1
滑落		14	5		3	6		8	3	3
転落		2			2				1	1
落石		1				1		1		
不明		1		1						1
その他		1				1		1		



6 曜日別発生状況



7 パーティ別発生状況

区分 パーティー別	発生 件数	死亡	行方 不明	負 傷		無事 救出	山系別発生件数		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	116件	8人	1人	19人	22人	81人	66件	17件	33件
単 独	44	6	1	3	7	27	21	6	17
2 人	24			5	2	28	9	3	12
3 人	11	1		3	3	6	7	2	2
4 ~ 9人	17	1		2	4	12	14	2	1
10 ~ 29人	14			5	3	6	9	4	1
30人以上	6			1	3	2	6		

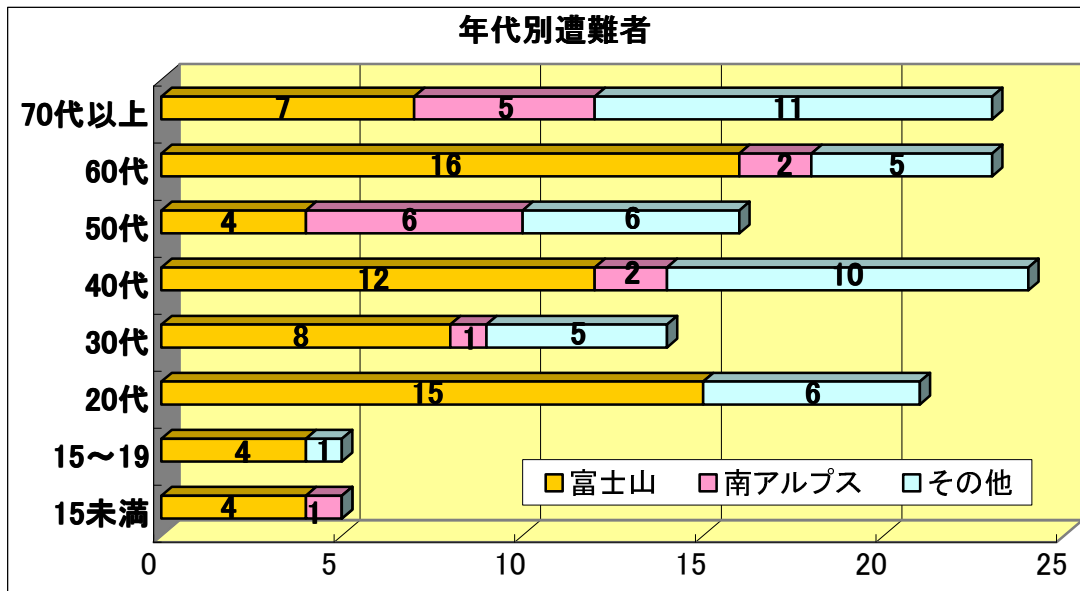
8 警察署別発生状況

年別 署別	平成 26 年				平成 25 年				前年対比			
	発生 (件)	死亡 (人)	負傷 (人)	救助 (人)	発生 (件)	死亡 (人)	負傷 (人)	救助 (人)	発生 (件)	死亡 (人)	負傷 (人)	救助 (人)
計	116	9	41	81	139	13	54	89	-23	-4	-13	-8
下田												
大仁	4	1	1	3	2			4	2	1	1	-1
三島												
伊東												
熱海	1			3	1		1				-1	3
沼津					1			2	-1			-2
裾野	6			10	2		2		4		-2	10
御殿場	23	4	4	20	45	6	19	26	-22	-2	-15	-6
富士					1			1	-1			-1
富士宮	48	2	20	27	58	1	23	37	-10	1	-3	-10
清水	1		1		4		1	4	-3			-4
静岡中央	23	2	13	9	20	4	6	14	3	-2	7	-5
静岡南	1		1						1		1	
藤枝	1			1	1	1				-1		1
焼津												
島田	1			1	2		1	1	-1		-1	
牧之原												
菊川												
掛川												
森												
磐田												
天竜	6		1	5	2	1	1		4	-1		5
浜松中央												
浜松東												
浜北												
湖西	1			2					1			2
細江												

※ 行方不明は死亡に含む。

9 年齢層別発生状況

区分 年齢層別	り災 人員	死亡	行方 不明	負傷		無事 救出	山系別り災人員		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	131人	8人	1人	19人	22人	81人	70人	17人	44人
60歳以上計	46	3	1	8	10	24	23	7	16
15歳未満	5					5	4	1	
15歳～19歳	5				1	4	4		1
20歳～24歳	11	1			2	8	9		2
25歳～29歳	10	1				9	6		4
30歳～34歳	6				2	4	2	1	3
35歳～39歳	8				2	6	6		2
40歳～44歳	11	1		1	2	7	6	1	4
45歳～49歳	13			4	2	7	6	1	6
50歳～54歳	8			2		6	2	2	4
55歳～59歳	8	2		4	1	1	2	4	2
60歳～64歳	9	2		3	2	2	7	1	1
65歳～69歳	14			1	1	12	9	1	4
70歳～74歳	14	1		4	4	5	3	4	7
75歳～79歳	7				3	4	4	1	2
80歳以上	2		1			1			2



10 居住地別発生状況

居住地別	区分	り災人員	死亡	行方不明	負傷		無事救出	山系別り災人員		
					重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計		131人	8人	1人	19人	22人	81人	70人	17人	44人
静岡県		41	1	1	2	4	33	13	2	26
東京都		19	2		3	4	10	9	3	7
神奈川県		17			4	3	10	9	2	6
千葉県		5	1		2		2	4	1	
埼玉県		6	2		1	1	2	4	1	1
茨城県		2			1		1	2		
新潟県		2	1			1		1	1	
愛知県		8			1	1	6	4	1	3
三重県		2			1	1		1	1	
石川県		1					1	1		
富山県		1					1	1		
岐阜県		1				1		1		
大阪府		6			1	2	3	3	3	
京都府		1					1			1
兵庫県		3	1		1		1	2	1	
愛媛県		2					2	2		
徳島県		1					1	1		
福岡県		1					1	1		
青森県		1					1	1		
宮城県		1			1				1	
外国人	アメリカ	2			1	1		2		
	イギリス	1					1	1		
	ドイツ	1					1	1		
	韓国	2				1	1	2		
	タイ	1					1	1		
	インドネシア	1					1	1		
	シンガポール	1					1	1		
	ブラジル	1					1	1		

※ 外国人は居住地でなく国籍とした

11 男女別発生状況

性別	区分	り災 人員	死亡	行方 不明	負 傷		無事 救出	山 系 別 発 生 人 数		
					重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計		131人	8人	1人	19人	22人	81人	70人	17人	44人
男 性		92	8		12	17	55	54	11	27
女 性		39		1	7	5	26	16	6	17

12 登山計画書提出状況一覧表（平成26年中）

月	区分	富士山	南アルプス	その他	計	合 計
		件数	件数	件数	件数	
1月	一般	6件	1件	11件	18件	41件
	ツアーガイド			23件	23件	
2月	一般	1件	1件	4件	6件	23件
	ツアーガイド	1件		16件	17件	
3月	一般	1件		5件	6件	24件
	ツアーガイド	1件		17件	18件	
4月	一般	7件	1件	8件	16件	33件
	ツアーガイド	2件		15件	17件	
5月	一般	81件	7件	19件	107件	128件
	ツアーガイド	4件		17件	21件	
6月	一般	39件	3件	9件	51件	62件
	ツアーガイド	3件	1件	7件	11件	
7月	一般	80件	57件	10件	147件	183件
	ツアーガイド	22件	11件	3件	36件	
8月	一般	82件	97件	4件	183件	261件
	ツアーガイド	60件	17件	1件	78件	
9月	一般	60件	53件	11件	124件	146件
	ツアーガイド	5件	15件	2件	22件	
10月	一般	20件	18件	16件	54件	60件
	ツアーガイド	2件	2件	2件	6件	
11月	一般	19件	4件	28件	51件	71件
	ツアーガイド			20件	20件	
12月	一般	12件	7件	19件	38件	57件
	ツアーガイド			19件	19件	
計	一般	408件	249件	144件	801件	1089件
	ツアーガイド	100件	46件	142件	288件	
合 計		508件	295件	286件	1089件	

※ 警察本部提出分に限る。

13 県警山岳遭難救助隊の年別出動状況

所属別	総 数		富士山		南アルプス		その他	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
平成21年	45回	212人	27回	125人	4回	26人	14回	61人
平成22年	49	239	29	155	4	35	16	49
平成23年	45	262	31	115	6	51	8	96
平成24年	62	260	43	194	5	14	14	52
平成25年	154	600	94	404	22	111	38	85
平成26年	73	352	57	278	6	42	10	32

※回数にはヘリの出動回数を含まず